

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

某)共同住宅新築工事

市街地での「拡頭構造」による深層施工

本物件は、江戸川区の市街地に建設される共同住宅の新築工事です。

計画当初は杭深度50.0m超える設計から現場造成杭で進められておりましたが、市街地での残土処理を含む大掛かりな車両・機材・設備等の懸念から鋼管杭e-pilenext工法を再度、比較いただくこととなりました。

鋼管杭e-pile next工法は、最大径(拡頭管)φ812.8mm、最長61.5mと、クラス最大の適応範囲を実現していること。また、数多くの深層施工の実績と環境配慮によるコンパクト施工、更に拡頭構造を使用することでの経済性、安全性を高く評価いただき採用となりました。

特に、元請け様には大掛かりな機材・設備、発生残土処理が不要なこと、低騒音・低振動で現場もきれいだね!と大変喜んで頂きました。

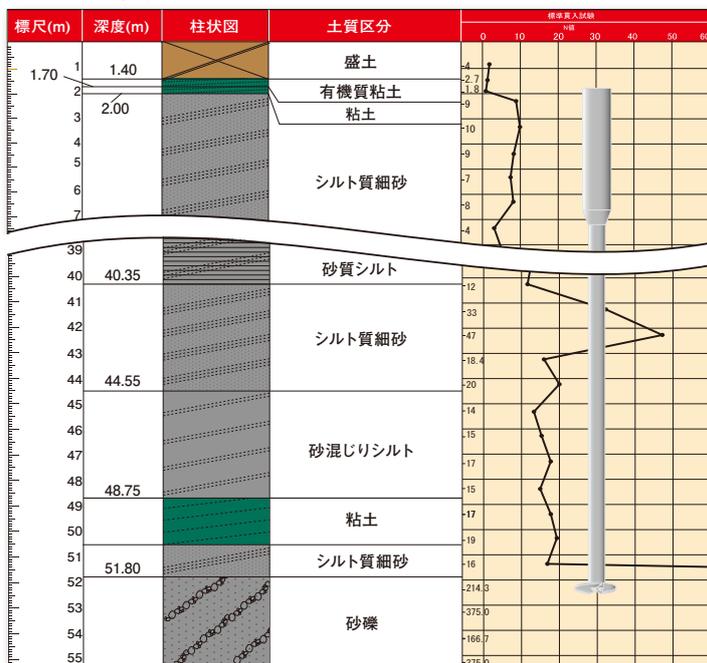
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



工事概要

工事名	某)共同住宅新築工事	杭径	φ508.0 mm
施工地	東京都江戸川区松江3丁目	拡翼径	Dw 1250 mm
用途	共同住宅	拡頭径	φ609.6 mm
構造	鉄筋コンクリート造(RC)8階	深度	SGL -52.5m
建築面積	2,055 m ²	支持力	2,850kN
工期	2019年5月27日~2019年6月20日	本数	24本

ボーリング柱状図



e-pile next

国土交通省大臣認定工法

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

- 国土交通大臣認定
 - TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む)
 - TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター
 - BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤
 - BCJ評定-FD0541-01 礫質地盤
 - BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 基礎評定(引抜支持力)
 - 砂質地盤
 - 礫質地盤
 - 粘土質地盤
- 日本環境協会
 - エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索



建設分野の技能実習生に受入人数枠 建設キャリアアップシステム登録も義務化へ ~失踪抑制に向け、技能実習等の基準を強化~

国土交通省は、建設分野の技能実習生の受入れに当たり、受入人数枠の設定や建設キャリアアップシステムへの登録等を義務化する内容の告示※を7月5日に制定・公布し、令和2年1月より施行します。※「建設関係職種等に属する作業について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則に規定する特定の職種及び作業に特有の事情に鑑みて事業所管大臣が定める基準等」(令和元年国土交通省告示第269号)

【背景】

- ・外国人技能実習生のうち、建設分野は失踪数が分野別で最多であり、実効性ある対策が急務。失踪要因は、報酬の変動や就労場所が変わり就労管理が難しいなど。
- ・4月から改正入管法による新たな在留資格(特定技能)の運用が開始されたことを受け、技能実習制度・外国人建設就労者受入事業においても新制度との整合性を図りながら適正な運用を図る必要。

【概要とスケジュール】

- ・建設分野の技能実習計画の認定に当たり、以下の基準を追加し、外国人技能実習機構において審査することとする。
 なお、施行日以降新規に受け入れる外国人技能実習生に対して適用され、既に受け入れている実習生は経過措置により本基準の適用外となる。

(1)技能実習を行わせる体制の基準(令和2年1月1日施行)

- ・申請者が建設業法第3条の許可を受けていること
- ・申請者が建設キャリアアップシステムに登録していること
- ・技能実習生を建設キャリアアップシステムに登録すること

(2)技能実習生の待遇の基準(令和2年1月1日施行)

- ・技能実習生に対し、報酬を安定的に支払うこと
- (3)技能実習生の数(令和4年4月1日施行)※
- ・技能実習生の数が常勤職員の総数を超えないこと(優良な実習実施者・監理団体は免除)

※優良な実習実施者以外の団体監理型技能実習で常勤職員数が9人未満(1~8人)の場合、現行は最大9名の技能実習生を受け入れることが可能ですが、告示施行後は、常勤職員数までしか受け入れられないこととなります。

※外国人建設就労者受入事業についても、「外国人建設就労者受入事業に関する告示の一部を改正する告示」(令和元年国土交通省告示第268号)により、同様の措置を講じる。

※各制度・詳細は国土交通省のHPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム
夏バテ予防



暑い日が続く夏になると、疲れが抜けにくい、食欲がわかなくなることはありませんか。これといった病気ではないのに身体の不調が続いてしまう……

暑さが元となる夏バテの主な原因は?

- 体内の水分・ミネラル不足=脱水症状
- 暑さによる食欲の低下=栄養不足
- 暑さとエアコンによる冷えの繰り返し=自律神経の乱れ

夏バテしにくい身体作りは、日頃の生活習慣を整えることから始まります。この機会に見直してみましょう。

①こまめに水分補給をする

厚生労働省の資料によれば、普通の生活においても毎日2.5Lの水分が身体から失われています。この時期は熱中症予防のためにも、水やお茶をこまめに飲みましょう。

②温度差や体の冷やし過ぎに注意する

外気温との温度差や体の冷やし過ぎは自律神経の乱れを招きます。エアコンの風が直接当たらないようにして、寒さを感じたら衣類やひざかけ等で調節しましょう。

③睡眠をしっかり取る

暑さによる疲労回復や、自律神経を整えて体調不良を改善するために睡眠は欠かせません。

ただし、睡眠中のエアコンのかけっぱなしは身体を冷やし過ぎ、かえって体調を崩しやすくなります。就寝時間、起床時間に合わせてタイマー設定を活用しましょう。

夏バテ予防のおすすめに「味噌汁」

夏場のランチは、おにぎりやサンドイッチ、サラダだけという人も多いかもしれません。でも、一日中冷房漬けという人は、夏でもランチには温かい汁物を。特に味噌汁は、味噌やワカメなどから、汗で流れがちな塩分やミネラルも取ることができます。アサリやシジミなど貝類が入ったものなら、肝機能を高めるタウリンも豊富です。



高温多湿の日本の夏を避けて通ることはできません。自分にあった夏バテ解消法を取り入れて、夏を楽しみましょう!



経理マンが行く

お盆

長い梅雨も終わり、やっと夏らしい季節になりました。雨の影響で野菜や果物にも大きな影響が出ているようです。収穫の出来ない農作物でも関係なく田畑をきれいにしなくてはいけませんから、農家の方には頭が下がります。

さて、梅雨も明ければお盆の時期ですが、今年のお盆休みは、土日の都合上長期の連休とする企業も多いようです。お盆はご存じの通り、先祖の霊を供養する行事ですが、日本の企業においては8月にお盆休みを設けるところが多く、この時期の道路渋滞や交通機関の混雑は、帰省する家族連れのもはや夏休みの風物詩と言っても良いかもしれません。

お盆がお休みになるのは元々「藪入り」という風習からきていると言われてい

ます。昔の奉公人が年に2回、お盆とお正月に主人から休暇をもらって実家に帰る風習の名残だとされています。家から離れて奉公しているものが、一族が集うお盆の行事に参加できるように、という配慮の意味合いがありました。

一般にお盆とされるのは8月13日の「盆の入り」~8月16日の「盆明け」の4日間とされていて多くの企業ではこの期間を「お盆休み」としています。そもそもお盆の本来の目的は先祖供養を行うためです。「盆の入り」には「迎え火」という火を焚いて先祖の霊を家族の元にお迎えし、その後、お盆期間中にお供えをしたり僧侶にお経をあげてもらったり、お墓参りをしたりと家族や親戚が集まっては先祖を思い、大切にすることを表すものでした。お盆期間が終わったらまた「送り火」を焚いて先祖が道に迷わず帰れるよう見送り、「盆明け」となります。



お盆の行事や風習は地方によって違いがありますが、お盆の時期も実は地方によって違います。

東京、横浜、静岡などでは新暦の7月15日にお盆を迎えます。それ以外の全国ほとんどの地域では新暦の8月15日に月遅れの盆としてお盆の行事を行います。新暦の7月15日は農作業の忙しい時期でもあり、月遅れでする方が好都合だからだとも考えられています。

今でも旧暦に基づいてお盆の行事を行っているのは沖縄などです。旧暦7月15日を新暦に直すと8月25日ということになりますね。沖縄でも最近では他の地域と同じように新暦の8月15日にお盆の行事を行うところも増えてきているようです。

夏には、地域ごとに盆踊りが開催されますが、盆踊りとは先祖さまがこの時期に戻ってきた時に、家族と共に楽しく過ごし、送り出す為の行事だと言うことはあまり知られていません。またお盆のお墓参りには、ご先祖さまが眠っているお墓回りの掃除をして、元気であることの感謝の気持ちを伝えます。

お盆休みは年に一度しかありませんが、親戚や家族が集まってたくさん話をする事で、ご先祖様も楽しいひとときを過ごしているのです。

